

第2回豊中市廃棄物減量等推進審議会における振り返り（平成30年（2018年）12月12日開催）

○第2回豊中市廃棄物減量等推進審議会案件に対する審議会意見及び事務局の回答等

No	資料 No	審議会委員の意見	事務局等の回答	修正内容
1	資料 2 事業評価報告書 P15	○事業実施状況評価の総括表について、影響度が低いが評価が高いものの表現が分かりにくい。	○第4次計画における事業実施状況については、わかりやすい表現に努めます。	・資料の修正なし。
2	資料 2 事業評価報告書 P35 ごみの量	○第3次の計画における平成32年度（2020年度）の目標値は、92,308tと理解しているが、第4次の計画において、平成39年度（2027年度）の目標値が約95,000tとなっているのはどういうことか。 ○第3次と第4次の目標設定の違いについて説明するようなコラム等を盛り込んでいただきたい。	○第3次の計画では、平成32年度（2020年度）の人口が、約36万人に減少すると推計して、目標値を設定していました。しかし、予測に反し、現在の本市の人口は増加しており、第4次の計画では、平成39年度（2027年度）の人口が、40万人弱となる推計を立て、目標値を設定しています。そのため、ごみの量としては、第3次の計画より第4次の計画の目標値が増えています。	★新頁 P35 として、コラムを挿し込みました。
3	資料 2 事業評価報告書 P35 と P36 の図 の配置について	○P35のごみの量のグラフについて、人口推移と関連することから、P36の人口のグラフと組み合わせることはできないか。 ○大幅な変更は困難と思われることから、P35ページとP36ページが見開きになるように工夫していただきたい。	○以前、ごみの量及び人口のグラフを組み合わせたものを使用していたが、複雑で分かりにくいと前期の審議会指摘を受け変更した経緯から、記載は現状のままとします ○ごみの量及び人口のグラフについては、見やすくなるよう調整します。	グラフと人口の図を見開きにしました。

○その他の審議会意見及び事務局の回答等

No	資料 No	審議会委員の意見	事務局等の回答	修正及び対応内容
1	資料 1-2 2020 ごみ減量プラン平成 29 年度事業評価報告書概要版 リサビットの活用について	○概要版について、今後は、グラフの数値が目標に向かっていようわかりやすい表現にしていきたい。 ○グラフに目標の進捗状況を記載することは、情報量が多くなり困難なため、リサビットを使った表現ができないか。	○グラフの表現ですが、目標に近づいているか否かを視覚的に分かるように検討します。また、リサビットの活用につきましても、ストーリー性を持たせてリサビットの姿が変化していくなど検討します。	・グラフの表現については、わかりやすいよう工夫します。 ・第 4 次の速報版でリサビットを活用します。
2	資料 2 P41 廃棄物減量等推進員と連携	○廃棄物減量等推進員における地域の取組みを周知した方が良いと考える。 ○廃棄物減量等推進員の東豊中第 2 団地における取組み報告書を拝見した。その中には生ごみの乾燥に着目されており参考になると思う。このような取組みを広げていくことが課題であると考えているが、行政として、どのようにサポートする考えをお聞きしたい。	○今年度、(11 名の)廃棄物減量等推進員の方に協力いただき、「効果的な生ごみの水切り方法」の報告書をいただきました。その結果を 3 月に全戸配布する「ハッピーごみ減量通信」に掲載し、市民に周知することで、より多くの市民にその取組みが浸透することに努めます。	・資料の修正なし。
3	資料 2 事業評価報告書 P52 第 4 次計画概要版	○第 4 次計画は、どのように公表されているのか。また、市民等は、概要版を見る機会が多いと思われるので、目標を達成するための 28g 削減の取組み方法が市民一人一日にリンゴ一つ分減らすなど、具体的な記載があるとわかりやすいと思う。また、リサイクル率についても表現が難しいと思うが、個人や事業者がどの程度実践すれば目標が達成できるのか記載すると具体的な取組みにつながると考えられる。	○計画の公表については、公共施設で閲覧できるほか、市のホームページにも掲載しています。第 4 次計画概要版については、発行済で変更できないことから、市民に親しまれている「フレフレごみ減量通信」に、廃棄物減量等推進員の取組みと、その効果として焼却処理量の削減による処理費用の節約見込み額を掲載しています。	・資料の修正なし。

No	資料 No	審議会委員の意見	事務局等の回答	修正及び対応内容
4	資料 3 第4次豊中市ごみ減量計画の進行管理	<p>○プラスチック類の現状やレジ袋の無料配布中止の動向などを記載しても良いのかと思う。</p> <p>○速報版の最後に QR コードが記載されているが、取組みの内容をユーチューブで配信できるよう URL を記載してはどうか</p>	<p>○プラスチック類の現状については、今年度発行予定の「ハッピーごみ減量通信」に記事を記載するように考えています。</p> <p>○動画を活用した発信も検討していきたいと考えています。</p>	<p>・資料の修正なし。</p>
5	その他 フレフレごみ減量通信のお知らせ	<p>○フレフレごみ減量通信にレジ袋の無料配布中止の記事が記載されている。マイバッグの持参率が実施後、急上昇しており、協定締結していない事業者に対し、今後どのように取組みを進めていくのか知りたい。また、マイクロプラスチックが塩に含まれている情報もあり、人体への影響も考えられるので、プラスチック類の削減について取組みを進めてもらいたい。</p>	<p>○レジ袋の無料配布中止の取組みにつきましては、協定締結事業者と自治体で協議会を設置し、取組みの拡充に向け、協定締結していない食品スーパーやドラッグストアおよびコンビニエンスストアへの働きかけを行うといった事業計画を立てています。今後も協定事業者の拡大に向け、働きかけを行っていきます。</p> <p>また、北摂地域におけるレジ袋の無料配布中止の協定締結や北摂地域共通マイバッグキャンペーンについて、さまざまなメディアに取り上げられました。</p>	<p>・資料の修正なし。</p>
6	その他 年号の標記について	<p>○資料に、年号の表記があるが、新年号になると対応はどのように行うのか。</p>	<p>○全庁的な対応として、新年号に切り替わるタイミングで、新年号に書き換えていくと思われます。</p>	<p>★既出の資料等は、新年号の書き換えは行いません。</p>